

2021年
第23回
総会議案書

開催日時：2021年5月31日（月）18：30～19：30

開催場所：りぼん事務所

特定非営利活動法人


市民ユニットりぼん

たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症（注1）は321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思ひます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。

そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思ひます。

1993年4月

注1) 2004年に厚生労働省より差別的だとして公募により「認知症」に用語が統一された

NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする

市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
 - 第1号議案 2020年度活動・事業報告及び収支決算の件
 - I. 2020年度活動・事業報告
 - II. 2020年度収支決算報告
 - III. 2020年度監査報告
 - 第2号議案 2021年度方針案及び事業計画案
及び収支予算案の件
 - I. 2021年度方針案
 - II. 2021年度活動・事業計画案
 - III. 2021年度収支予算案
 - 第3号議案 理事改選の件
 - 第4号議案 職員代表選出の件
 - 第5号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会

目 次

第1号議案

2020年度活動・事業報告及び収支決算の件

- 【Ⅰ】 2020年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 2020年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 【Ⅱ】 2020年度収支決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 【Ⅲ】 2020年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第2号議案

2021年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- 【Ⅰ】 2021年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 【Ⅱ】 2021年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - 2021年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 【Ⅲ】 2021年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第3号議案 理事改選の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第4号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第5号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

【資料】 組織図

第1号議案 2020年度活動・事業報告、及び収支決算の件

I. 2020年度活動報告

◆ 定款に沿った活動を行いました。

会員活動	
目標	総括
地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます	<p>コロナ感染拡大予防のため下記の行事はやむなく中止としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会「結びの会・りぼん」&家族介護者の会 ・被災地等への寄付金活動のためのいちよう祭り参加 ・救急救命講習会 ・会員交流会 ・定例会
① 地域活動	
地域の交流の場としてひだまりの家やみんなの居場所カヱりぼんを提供していきます。	ひだまりの家の空き曜日に ACTいきいきサークル“リーダークラブそれいゆ”と“絵画クラブアトリエ友“に合わせて13回活動の場所提供。みんなの居場所カヱりぼんでは開所時に、月2回、趣味のグループが集まることになりました。
障害者就労支援体験の場を提供します	機会がありませんでした。
広報活動を推進します	「おはなしりぼん」の発行は出来ませんでした。 「ホームページ更新」は随時行いました。
出前介護教室	夫が妻のトイレ介助を行っていたが、腰椎圧迫骨折し、介助困難となり、ベッドでの排泄介助をすることになり、介助方法の指導の為、訪問した。 その後、支援継続となり、日中は夫が介助出来るまでになっている。
在宅心身障害者 緊急一時保護登録支援	新規の登録者、利用はありませんでした。
まちづくり市民運動	生活クラブ運動グループ八王子地域協議会主催の介護保険制度の講演会で使用する資料提供や当日の講演の手助けが出来ました。
②法人内活動	
ひだまりの家支援 庭作りボランティア	・新型コロナウイルス感染拡大が心配な中、緊急事態宣言期間以外は、殆ど予定通りに活動できました。草むしりや枝の剪定をはじめ、花の苗を新しく植えるなど、花の季節には皆さんに喜んでもらえました。

登録ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、演奏会などは全て行うことができませんでした。傾聴等を通し利用者との関わりを深めることができました。
みんなの居場所 “カフェりぼん” 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のお当番など、運営に携わりました。 ・庭の枝、草刈りを定期的に行い、地域の方々が気持ちよく利用できるよう環境整備を行いました。

総務・法人事務局															
		総括													
法人の円滑な運営のための取り組みました。															
セキュリティ管理 個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催しました 														
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理委員会を9月12日、14日開催し現場の対応や、現状を踏まえた法人の「新型コロナウイルス感染症対応」のマニュアルの作成しメンバーへ配布 ・コロナ感染が疑わしい場合、PCR検査を受けてもらいました。(4名) PCR検査結果が出るまでは有給休暇としました。 ・インフルエンザワクチンの予防接種を推進しました。 ・従業員健康状況報告 <table border="1" data-bbox="480 1126 1439 1227"> <thead> <tr> <th>労災申請</th> <th>勤務制限必要者</th> <th>休業必要者</th> <th>出勤停止者</th> <th>復職者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者	0	0	2	0	1
労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者											
0	0	2	0	1											
労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間の管理、就業規則、所定労働時間の遵守に努めました ・職員の健康を維持するため、年1回の定期健康診断受診を促進し、9割の職員が受診し、健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。 														
法人会員管理	正会員数 40名 (3月31日現在) 賛助会員 1名 会員加入4名・退会1名														
会議報告	定例会 開催無し 理事会 2回開催 理事運営会議 5回開催 管理者会議 8回開催														
総務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため在宅ワークの推奨をした。 ・新型コロナウイルス感染予防のための備蓄品のマスク、アルコールを部門と協力し配布を行った。 ・新規業務として“特定処遇加算(2019年開始)の支援、コロナ対策事業補助金”管理 ・ケータイをガラケーからスマホに変更し、事務の合理化ができた。 														

介護サービスりぼん																											
目標			総括																								
事業	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・目標時間を上回っての実績でした。 ・新型コロナウイルスの感染リスクを下げるため訪問のケアを休まれた方もいらっしゃいましたが多くはありませんでした。 																								
介護	200	262																									
予防	50	53																									
障害	200	177																									
自費	30	13																									
合計	480	505																									
(単位時間/月)																											
従業員数 常勤3名 登録ヘルパー12名 (曜日固定1名含む)			<ul style="list-style-type: none"> ・有給取得や体調不良時のケア者交代の対応を実施できました。 ・働き方アンケートで『現状維持、自然減の場合はそのまま』と希望する登録職員がほとんどでした。それぞれの希望する働き方をかなえつつ事業運営を安定させることは困難な面もありました。 ・新型コロナウイルス感染症対策の基礎知識などを適時ヘルパーに伝え、不安なくケアに入る体制をつくりました。 ・緊急事態発令中は密を避けるため常勤職員の事務所滞在時間を減らす工夫をしました。 																								
本人が安心して介助を受けられるような介護技術の獲得			<ul style="list-style-type: none"> ・研修は資料を配布し、各自読んで報告書を提出する方法で行いました。80%の提出率でした。「顔を合わせて意見交換しながらの研修が良いのだが・・・。」との感想が聞かれました。 																								
責任ある労働の提供			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のためマスク、グローブ、消毒液の適時配布を行いました。 ・厚労省からの伝達事項を踏まえ、訪問介護で行うべき感染防止対策を共有。日々の業務で活用できました。 																								
地域社会活動			<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護初心者の自宅に出向き、おむつ交換や車椅子移乗の方法を伝えることができました。 																								
苦情・事故・ヒヤリハット			苦情：0件 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>破損</th> <th>ケア忘れ</th> <th>ケアミス生活</th> <th>ケアミス身体</th> <th>遅刻など</th> <th>物品持ち帰り</th> <th>私物忘れ</th> <th>手配ミス</th> <th>ひやりはっと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>							破損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはっと	3件	2件	7件	0件	0件	0件	2件	0件	0件
破損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはっと																			
3件	2件	7件	0件	0件	0件	2件	0件	0件																			

ケアプランサービスりぼん	
目標	総括
事業高 認定調査 233 件 介護給付 1007 件 予防給付 284 件	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付は秋頃より入院入所者が増え目標達成が厳しい月もあったが、新規依頼が毎月あり維持出来た ・予防給付はコロナウイルス感染症が拡大し緊急事態宣言の時期はサービスを控える利用者もあり計画より下回ったが年間通し計画を上回った
従業員 管理者 1 名 常勤 1 名 準常勤 1 名 パート 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・9 月から経験介護支援専門員が入職し 4 名の職員でケアマネジメントを行った
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病や家族状況によりニーズの違いを聞き取り、ニーズにあった情報提供を行い自己決定が出来る様支援をした ・事故、苦情、ひやりハットを事業所内で共有し再発を予防しました ・利用者アンケートを実施しました ・今年度はコロナ禍の中、全ての研修がリモートで行われましたが八王子介護支援専門員連絡協議会開催の研修に参加することで自己研鑽に努めました
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症拡大予防の為、法人と協働で開催予定だった「結びの会」は中止となりました ・コロナ禍の中、みんなの居場所「カフェりぼん」の活動も停滞し活発な活動が出来なかった為、新たなサポートを作り出すまでには至りませんでした
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・年 1 回の健康診断を行い、自己管理、改善することが出来ました ・有給休暇を活用し休息、リフレッシュすることで精神的、身体的な体調管理が出来ました ・毎月業務会議を開催することが出来、情報共有を図ることが出来ました
苦情・事故・ヒヤリハット	事故 0 件 苦情 0 件 ひやりハット 0 件

ひだまりの家		
目標	総括	
2020年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に自ら利用休止をする利用者が月平均3名～おり、経営的に厳しい状況が続いた。 ・年度後半は、毎日利用していた方が長期入院の見込みとなり退所する等、更に経営不振となった。新規利用者の殆どが要支援で要介護の方の問い合わせは少なかった。 	
介護目標		介護実績
8.5人/日		6.5人/日
予防目標		予防実績
1.5人/日		2.5人/日
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・4月緊急事態宣言期間は、職員の急な欠員が生じ対応に追われた。 ・7月に看護師1名復職、9月に新人介護職員1名入職、10月に常勤職員1名退職。11月から介護員7名、看護師3名、運転手2名、調理員2名。 	
サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等にすることができ、サービス機関との連携を図ることができた。 ・事故苦情ひやりはつとを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 ・利用者アンケートを実施した。 ・講師やボランティアの受け入れができない期間もあったが、日々のプログラムの充実や、近隣の外出等を通して心身の活性化を図れた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策セミナーに定期的に参加し、サービス提供時の大きな不安を解消することができた。 	
栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応も迅速に行えた。 ・材料費の高騰もあったが、食材や調理法を工夫し提供できた。 	
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策(感染症対策)として、手洗い、手消毒、マスク、換気、検温を徹底し、わかりやすい表現で事態を張り紙で掲示することで全員に周知することができた。飲食時は密を避けた席の配置を整え、アクリル板も使用することで、感染予防に努めることができた。 	
災害対策及び 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に地震、11月に火災を想定し訓練を行うことができた。 ・消防士を呼んで行う、救急救命講習会は実施できなかった。 ・3月に消防署の立ち入り検査の実施があった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に関連して、環境整備が行えた(タイルカーペットの貼り換え、網戸の貼り換え、水道蛇口の交換等) ・送迎車の老朽化のため、中古車輛を6月に購入した。 	
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を9月に実施。3月は自粛要請で紙面開催となった。 ・引き続き、ボランティアの受け入れは実施できたが、学生の職場体験等は自粛要請があり、受け入れできなかった。 ・地域の方による演奏会などの催し物は殆ど実施できなかった。 ・地域交流会は、実施できなかった。 	
苦情・事故	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車輛で送迎中に2件の違反罰金が生じ、その後スタッフ間で共有し対策を講じた。 	

みんなの居場所カフェりぼん									
目標		総括							
目標 840,000 円 (内訳) バザー 100,000 円 ワコイン 40,000 円 ランチ・喫茶 700,000 円	実績 163,581 円 4月～6月 新型コロナウイルス感染予防のため閉所 7月～10月 月、水、金 13:00～16:00 11月～3月 月～金 13:00～16:00	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年間活動日数</th> <th>年間参加人数</th> <th>年間スタッフ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>141 日</td> <td>601 人</td> <td>158 人</td> </tr> </tbody> </table>		年間活動日数	年間参加人数	年間スタッフ人数	141 日	601 人	158 人
年間活動日数	年間参加人数	年間スタッフ人数							
141 日	601 人	158 人							
従業員数 登録ボランティア 19名	7月は2名体制でお当番に入った。 8月からは1名体制。								
目的に沿った活動	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、緊急事態宣言を受け閉所し、解除後、予防対策をして開所した。</p> <p>②密を避ける為、ワコインコンサート、麻雀、トリム体操、食事の提供等は中止した。</p> <p>③元八王子市民センターで年2回開催するバザーも中止となり参加できなかった。</p> <p>以上の状況から居場所からの情報発信や、地域のニーズを収集することが出来なかった。</p> <p>緊急事態宣言解除後、開所し、開所を待っていて下さった利用者が毎日来所し、近況報告や励まし合ったりして、きずなを強めている</p>								
助成金	八王子市一般介護予防サロン活動支援事業「常設サロン」支援金 596,000 円のうち 77,897 円は返還								

決 算
報 告
書

(第21期)

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31
日

特定非営利活動法人 市民ユニットりぼ
ん

八王子市横川町1166-2メゾンさつきの
101

電話 : 042-621-4781

第2号議案 2021年度方針及び事業計画及び収支予算の件(案)

I. 2021年度方針(案)

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・メンバーひとりひとりの協力のもと経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 地域に根ざした法人を目指す

2018年度の介護保険制度改正から3年目となる今年 2021年度の改正は団塊世代が75歳以上となる2025年、更に2040年を見据えたプラス改定となりました。

しかしながら、その内容は人材不足にあえぐ訪問介護事業所にとって、1単位のアップであり、事業存続の為に緊急課題である働き手の確保に繋げるには厳しいものです。

又、重度化防止の為に加算や、介護現場のIT化による変革を求められており小規模である私たち法人には中々、厳しい状況となることが予想されます。

昨年より続いている新型コロナウイルスがもたらした社会は、働き方、人との交流の仕方まで変えてしまい、顔を合わせておしゃべりをすることで見えていた生活の困りごとが見えなくなっていました。「助けて」と声をあげたくてもどこへ行って良いか分からない人家庭の中に抱えてしまっている人にどう手を差し伸べたら良いか私たちに何が出来るのか考えなくてはなりません。

ACTとの連携関係から離脱して2年になる私たちですが法人設立当初もっていた「やさしさ」「たすけあう共助」の気持ちは、まだまだ健在であると信じ、共助が公助を育て、そして、自助が発揮でき豊かに暮らせる、そんな助けになりたいと思います。

業務継続計画の策定が義務つけられている今、法人らしい計画を策定すると共に、今まで築いてきた地域のコミュニティを今一度見直し、築き直し、誰もがお互いを認め合い共に暮らせる共生のまち、いつでも手の届くところにいる「市民ユニットりぼん」であり続けたいと思います。

■ サービス提供体制の充実を図り、サービスの質の向上を目指します

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止を徹底します。
- すべての職種に共通した研修を実施し、各種職種別研修の参加を推進します。
- 法人全体で個人情報保護に取り組んでいきます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の健康に配慮し、責任あるサービスの提供に努めます。

■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- 地域を知って地域のニーズをひろいます。
- 公的なサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも、地域の人も、誰もが楽しく集える場所を作ります。
- 地域の顔が見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

Ⅱ. 2021 年度活動・事業計画 (案)

会員活動

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

①地域活動

- ✧ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カフェりぼん」を提供していきます。
- ✧ 障害者就労体験の場を提供します。
- ✧ 広報活動を推進します。
 - ◎広報紙「おはなしりぼん」の発行
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ✧ 出前介護講習
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ✧ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ✧ 交流会「結びの会・りぼん」
りぼん会員、利用者、職員はもとより広く地域にむけての交流会を実施します。
- ✧ 被災地等への寄付金活動
いちよう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ✧ 市民運動・政策提言
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ✧ 他団体と共に地域福祉の向上及び地域包括システム(ネットワーク)の活動を行います。

②法人内活動

- ✧ ひだまりの家の支援を行います。
 - ◎庭作りボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ✧ みんなの居場所カフェりぼんの支援を行います。
 - ◎開所時のお当番ボランティア
 - ◎庭の草むしりや、環境整備のボランティア
- ✧ 救急救命講習を実施します。
- ✧ 会員交流会を実施します。
- ✧ みんなが参加できる定例会を目指します。

総務・法人事務局	
法人事務局	方針
<p>新型コロナウイルス感染症が昨年同様続くと思われるが、法人活動が停滞しないように会議（ズーム会議の利用等）を工夫したり、りぼんニュース、部門の会議やニュースなどに発信していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。 ・法人の円滑な運営の充実を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 1、個人情報保護に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催します。 ・職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。 2、安全衛生管理に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策の基本を守ります。 ・衛生委員会を随時開催します。 ・従業員の勤務時間の管理の徹底を継続。また、働き方改革の労基法を順守します。 ・従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します 	
総務	方針
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の職務内容のシャッフル ・レセプト業務と決算業務の相互共有 ・ひだまり小口現金対応 	

II. 2021 年度事業計画案

介護サービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護保険介護給付事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（なんでも隊）
目標件数	介護保険 250 時間 予防 50 時間 障害 180 時間 自費 20 時間 合計 500 時間
従業員数	常勤 4 名（サービス提供責任者 2 名、 常勤ヘルパー・自費コーディネーター 1 名、常勤ヘルパー 1 名） 登録ヘルパー 10 名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援 ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得 ・ 責任ある労働の提供
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 1 回の健康診断を推進します。 ・ 毎月 1 回の常勤職員業務会議を実施し情報の共有を図ります。登録職員には業務ニュースとして配信。それぞれが情報を適切に得て安心して業務対応できる環境を作ります。
地域社会活動	在宅介護初心者の自宅に出向き介護方法等の講習を行い介護者の支援を行います。

ケアプランサービスりぼん

目標	方針
事業高	介護（管理者 25 件 常勤 30 件 準常勤 22 件 準常勤 22 件） 予防（管理者 8 件 常勤 8 件 準常勤 6 件 準常勤 6 件） 認定調査 24 件 1,524,080 円/月の売り上げを目指す
従業員	管理者 1 名 常勤 1 名 準常勤 2 名 計 4 名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中立公平な立場でニーズにあった情報提供を行い、利用者、家族が選択できるよう支援します。 ・ 利用者の持てる能力を生かし、笑顔がみられる支援を行います。
サービスの質向上と 選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の持てる能力、望むこと等、潜在的ニーズを探り、生かされる支援を行っていきます。 ・ ニーズにあった社会資源を公正中立な立場で情報提供を行い、利用者が自己決定出来る様支援をします。 ・ 疾病、障害や家族構成等、それぞれ違った環境にあっても安心して暮らせる様、地域やサービス事業所を連携を図り支援していきます ・ 事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を予防します。 ・ 利用者アンケートを実施し、より多くの意見、要望を聞き取り質の向上に努めます。 ・ 積極的に研修参加することでスキルアップを目指します。
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人と協働で「結びの会」を開催し利用者や家族が元気に交流出来る場所を提供します。

ひだまりの家	
目標	方針
事業内容	地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業
目標件数	・要介護 8 人/日 要支援 2.5 人/日
従業員数	・常勤職員 1 名 ・非常勤職員 12 名(介護員 6 名、看護師 3 名、調理員 2 名、運転手 2 名)
事業運営方針	・小規模を生かし、家庭的な施設を目指します。 ・利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
サービスの質の向上	・プログラム活動の充実を図り、本人及び介護者の支援をします。 (年間行事, 月間プログラム, 手作り制作, おやつ作り, 近隣外出・・・等) ・ケアマネジャーとの連携を図り状態変化等の報告を迅速にします。 ・利用者アンケートを実施し、サービスの満足度や要望の確認をします。 ・ひやりはっとを見落とさずに報告し、会議等で対策を検討します。職員全員で共有し再発防止に努めます。 ・全員が認知症介護に関わる研修を受講し、サービスの質の向上及び虐待防止に努めます。
栄養管理	・季節の素材を取り入れ、バランスの良い献立で提供します。 ・お誕生日御膳や行事に合わせたメニューを取り入れ、食の楽しさを提供します。 ・個別対応及び病態による対応を適時します。
安全衛生管理	・感染症を理解し、手洗いなどの感染症対策を徹底します。 ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
災害対策 及び施設管理	・避難訓練を利用者と共に実施します。 ・日々の整理整頓を心がけ、危機管理に努めます。
地域社会活動	・運営推進会議を年 2 回開催し、日々の活動状況報告や、感染症予防対策を検討し、地域との連携を図ります。 ・防災の意識を高め、地域の方と訓練を共有するように努めます。 ・地域や他団体との交流を深め、学生やボランティアの受け入れを積極的に行います。

みんなの居場所カフェりぼん	
目標	方針
事業内容	八王子市のサロン助成金を申請 596,000 円 コロナ感染予防に努めながら、 月～金 13:00～16:00 の開所（状況を見て以前と同じ 10 時～16 時）
活動内容 目的に沿った活動	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。 2、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として、居場所を特技を生かしてもらいます。 3、地域の方々や職員の交流の場、特技を生かす場として活用します。 <p>・今年度から介護予防、早めの発見をするための見守り活動が開始される。 ボランティア含め居場所スタッフで見守りをする</p> <p>企画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンコインコンサートの開催(年 3 回) 木目込み バザー&健康相談(年 3 回) ラジオ体操 喫茶 <p>*気軽に立ち寄れる居場所として企画を考えていく</p>

第 3 号議案 理事改選の件

理事候補者	浜口 龍太
	奈良 憲一郎
	青山 登
	井上 智恵
	内田 富美子
	小澤 祐希枝
	鈴木 真砂子
	濱中 恭子
	早川 寛子
	木下 清子
監事	長田 洋一

第 4 号議案 職員代表選出の件

木原 淳子 (2021. 6. 1～2022. 5. 31)

第 5 号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 20,000 円とする。
ただし、別途職員としての業務に対し給与等を
支給することを妨げない。

